

# 新居浜ロータリー会報

MARCH  
2024

3



3月14日 親睦家族会 集合写真

● クラブ基本方針 | ロータリーをもっと楽しもう  
《'23-'24》

● 国際ロータリーテーマ | 世界に希望を生み出そう  
《'23-'24》

目		次	
科学奨励賞発表報告			
飛行機の羽と飛び方についての実験 ……	4	親睦旅行 大阪・芦屋・淡路 1泊2日の旅 …	12
科学奨励賞発表報告			
未来の地球を守れ!! ～分解できるプラスチック作り Part2～ …	5	入会のご挨拶 ……	13
外部卓話			
もったいないの国の食品ロス ……	8	例会記録 ……	14
内部卓話			
天然ガスを取り巻く状況について ……	10	ニコニコBOX ……	15
人生100年時代のリスクへの備え(相続と認知症) …	10		

## ◆◆◆◆◆ 2024年2・3・4月例会と行事予定 ◆◆◆◆◆

2月(平和と紛争予防/ 紛争解決月間)		3月(水と衛生月間)		4月(母子の健康月間)	
1日	・外部卓話(青少年) 「新居浜市小中学生 科学奨励賞発表会報告」	7日	・IM報告 ・情報雑誌 ・家庭集会(18:30～) (社会・人尊・青少年) RA・IA	2日(火)	【合同夜間例会】18:30～ 新居浜南RC担当 卓話：新居浜RC担当 <b>*曜日注意!</b>
8日	・内部卓話 新入会員(小林勝彦会員) ・情報雑誌 ・家庭集会(18:30～) (クラブ奉仕・親睦・SAA) 副SAA)	14日	【夜間例会】18:00～ ・親睦家族会 <b>*時間注意!</b>	11日	・お茶の会 ・家庭集会(18:30～) (職業・国際・財団・米山)
15日	・内部卓話 新入会員(梶原浩充会員)	21日	/	18日	・内部卓話 新入会員(小野祐也会員) ・情報雑誌
22日	・外部卓話(人間尊重)	28日	・研修・協議会報告	25日	・内部卓話 新入会員(村田弘一会員)
29日	/		/		/
10-11 23	・4RCゴルフ(西条RC担当) ・親睦家族旅行(神戸・淡路) ・ロータリー創立記念日 ・世界理解と平和週間 (2/23-3/1)	2 17	・愛媛第I分区IM ・地区研修・協議会(高松) ・世界ローターアクト週間		
25	・PETS・DTTS (オークラホテル丸亀)				

(2023 - 24年度)

### 2月中の出席成績

例会日	区分	会員数	出席 人数	欠会 員数	出席 率	メーキャップ数	修出 席	正率	来 訪 ロータリアン
1日		67	58	9	86.57%	5	100.00%		0
8日		67	55	12	82.09%	8	100.00%		0
15日		67	55	12	82.09%	7	100.00%		0
22日		68	51	17	75.00%	10	100.00%		0
合計		269	219	50		30			(カード 0) (0)
平均		67.25	54.75	12.50	81.44%	7.50	100.00%		累計 16 (カード 2)

## 定例理事会報告

幹事 西岡 圭

日時：令和6年2月8日(木) 12:00～ 議題および内容  
場所：リーガロイヤルホテル新居浜 1) 新会員の入会について  
諮問人員：12名 2) 食事内容について  
3) メイキャップ対象の会合または活動について

## 🎶 今月のこの瞬間 🎶



■ 3月14日 ■  
ミニコンサート  
St.Ecru(セント・エクリュ)  
(リーガロイヤルホテル新居浜)

# ◆ 科学奨励賞発表報告 ◆

## 飛行機の羽と飛び方についての実験

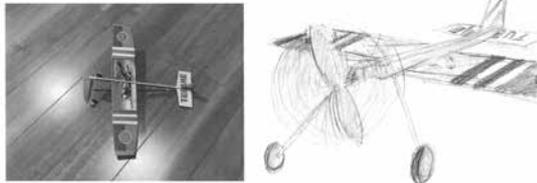
新居浜市立金栄小学校 5年 藤田 祐 貴



### 1. 実験の動機

父にプロペラを回して飛ぶ飛行機を買ってもらい、一緒に校庭で飛ばした。  
しかし、その飛行機は、思っていたより遠くに飛ばなかった。

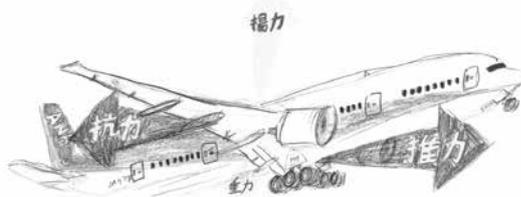
そこで、どのように工夫したら、もっと遠くに飛ぶ飛行機になるのかを調べようと思い、この実験を試みることにした。



### 2. 飛行機が飛ぶ仕組み

飛行機には、上向きの「揚力」、下向きの「重力」、前向きの「推力」、前に進むのをさまたげる「抗力」の4つの力が働いている。推力が抗力よりも大きければ前に進み、揚力が重力よりも大きければ浮き上がる。

そこでより大きな揚力を生み出す羽について調べる実験をした。



### 3. 実験① 羽の角度と飛び方について

・羽の角度が急になるほど、飛行機の飛ぶ高さが高くなった。

羽の角度	20°	30°	40°
写真			
飛んだ高さ (cm)	4cm	5.5cm	6.5cm

\* 羽の形はすべて四角とし、大きさは同じにして、角度だけ変化させた。

### 4. 実験② 羽の面積と飛び方について

・羽の面積が大きいほど飛行機の飛ぶ高さは高くなった。  
・羽の向きを変えることで飛行機の飛ぶ高さが変わった。  
・羽は横に広げた方が飛行機の飛ぶ高さは高くなった。

羽の面積	24cm <sup>2</sup>	12cm <sup>2</sup>	8cm <sup>2</sup>
写真			
飛んだ高さ (cm)	6.5cm	6cm	0cm

\* 羽の向きを横向きにした。

羽の面積	24cm <sup>2</sup>	12cm <sup>2</sup>	8cm <sup>2</sup>
写真			
飛んだ高さ (cm)	6.5cm	0cm	0cm

\* 羽の向きを縦向きにした。

### 5. 実験③ 羽の形と飛び方について

・羽の形を変えても飛行機の飛ぶ高さは変わらなかった。  
・羽の曲がりを変化させると飛行機の飛ぶ高さが変わった。

羽の形	四角	三角	台形
写真			
飛んだ高さ (cm)	6.5cm	6.5cm	6.5cm

\* 羽の面積は同じにした。

羽の形	直線	曲がり小	曲がり大
写真			
飛んだ高さ (cm)	6.5cm	6cm	7cm

\* 羽の面積は同じにした。

## 6. 考察

・実験①～③の結果から、次のような羽の形の飛行機がよく飛ぶと考える。

- ① 羽の角度が40° くらいであること。
- ② 羽の面積ができるだけ大きいこと。
- ③ 羽が横方向に長いこと。

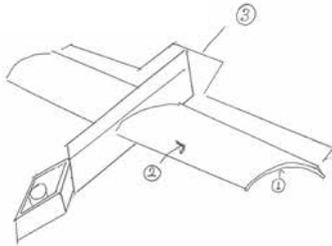


図10. よく飛ぶ飛行機の形

## 7. 感想

ぼくは、この自由研究を通して、どうしたらよく飛ぶ飛行機になるかを、実際に実験して調

べて、知ることができた。

実験をしたときに、予想とはちがって、びっくりするような結果になった時もあったりして、とても楽しかった。また、なぜ実験の結果がこうなったのかを、自分で予想して考えることができたのが面白かった。

さらに、実験をしている最中で、羽の枚数が変わるとどのような飛び方になるのか？、飛行機の後ろに羽があるかないかで、飛び方が変わるのか？というように、新しく疑問に思うこともいくつかあったので、また調べてみたいと思った。

この研究を通して、飛行機がよく飛ぶ条件が分かったので、これらを組み合わせて、よく飛ぶ飛行機を作りたいと思う。

〈参考図書〉

1. 揚力実験装置の作りかた | おもしろ科学実験室 / (工学のふしぎな世界) | 国立大学55工学系学部HP (mirai-kougaku.jp)
2. 芳賀靖彦編 (2018) 「学研の図鑑LIVE 乗りもの」株式会社学研プラス

## ◆ 科学奨励賞発表報告 ◆

# 未来の地球を守れ!!

## ～分解できるプラスチック作り Part2～

新居浜市立別子中学校 2年 長尾 怜央 菜



### 1. 研究のきっかけ

私がプラスチックの研究をするのは、今年で2回目です。去年は「プラスチックを作ることができる飲み物」「分解する日数」「実用化に適している飲み物」を知るため

に主に3つの実験を行いました。改めて振り返ってみると、

- ・用意した牛乳と豆乳は、脂肪の含有量と違うものと比べていない。
- ・強度を調べるときの質量の違い

など、他にも様々な課題があったことが分かりました。だから、その様々な課題を解した実験をし、もっと正確なデータを出したいと思いました。

今回の実験は、「強度」に着目しました。去年は強度実験があまりできておらず、また、実験装置の問題点やプラスチックの形などの条件が合っていない等、他の実験よりも色々な課題が見つ

りました。そこで、実験回数を多くしたり、実験装置を改良したりすることで、より正確な結果になるように努力しました。今回は、

- ・脂肪の含有量による強度の違い
- ・何かを混ぜたら強度は上がるのか？

という2つの視点を主に実験をしました。さらに、実用化に向いているプラスチックはどれか考察しました。

日本は容器包装プラスチックの1人あたりの廃棄量は世界2位で、年間31.4kgしていることになるそうです。今のプラスチックは分解ができないので、焼却しきれないものもたくさん発生すると思います。しかし、生分解性プラスチックが広まれば、そのような課題も解決するはず。この研究が、実用化への第一歩となればいいな、と思っています。

※生分解性プラスチックとは、微生物などの働きによって分子レベルまで分解し、最終的に二酸化炭素と水になって自然界へと循環していくプラスチック。

## 2. 今年の実験の目標

<全体の目標>

- ・プラスチックの強度と、材料の脂肪分の違いと関係があるかを考える。
- ・プラスチックの強度が上がる法則を見つける。

<実験1の目標>

- ・牛乳と豆乳のどちらが軽くて強度があるプラスチックなのかを調べる。
- ・牛乳、低脂肪牛乳、無脂肪牛乳の中から最も軽く強度があるプラスチックを調べ、結果を脂肪分と関連づけて原因を考える。
- ・調整豆乳、無調整豆乳の中から最も軽く強度

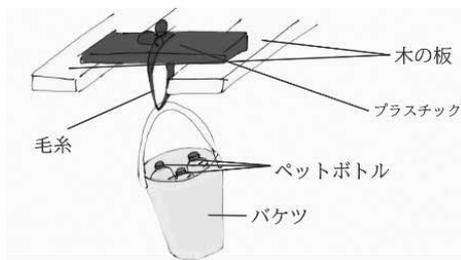
があるプラスチックを調べ、結果を脂肪分と関連づけて原因を考える。

⇒この5種類の中で、実用化しやすいものをランクづけする。

<実験2の目標>

- ・プラスチックに5種類の物(こんにゃく、鰹節、レタス、ごぼう、雑草)を混ぜ、それぞれの飲み物の中でどれが一番丈夫だったかを調べる。
- ・5種類のプラスチックの中から、どれが一番軽かったかを調べる。
- ・最後に、どうしてそのような結果になったのか、原因を考える。

## 3. 実験1 ～飲み物の種類による強度の違い～



予想

質量

牛乳	低脂肪牛乳	無脂肪牛乳	無調整豆乳	調整豆乳
6g	5g	4g	5g	6g

強度

牛乳	低脂肪牛乳	無脂肪牛乳	無調整豆乳	調整豆乳
0.25kg	0.2kg	0.18kg	0.13kg	0.15kg

結果

質量

牛乳	低脂肪牛乳	無脂肪牛乳	無調整豆乳	調整豆乳
6.3g	4.3g	4.3g	5g	6g

強度

牛乳	低脂肪牛乳	無脂肪牛乳	無調整豆乳	調整豆乳
0.48kg	1.02kg	1.26kg	0.76kg	0.25kg

考察

⇒質量の軽いプラスチックは  
原材料の脂肪分が少ない

5位 牛乳

3.5%~

高

1位

無脂肪牛乳

0.2%

・脂肪分、大豆固形分が少ない  
ものほど丈夫になっている。

5位

無調整豆乳

9%

脂肪が少ない

↓  
プラスチックに含まれている脂肪が少ない

↓  
固くなった



プラスチックの強度が上がった。

	質量	強度	作りやすさ
牛乳	△	△	◎
低脂肪牛乳	△	△	◎
無調整豆乳	△	△	◎

⇒一番実用化しやすいプラスチック  
は調整豆乳プラスチック。

#### 4. 実験2 ～強度を上げる方法～

**実験の内容**

- ・ 5種類の材料に、それぞれ5種類のものを加えて、強度が上がるか調べる。

**こんにゃく、鯉節、レタス、ごぼう、雑草**

**予想**

	強度が上がるもの
牛乳	こんにゃく、ごぼう、雑草
低脂肪牛乳	上がらない。
無脂肪牛乳	上がらない。
調整豆乳	ごぼう、雑草
無調整豆乳	すべて上がる。

**結果**

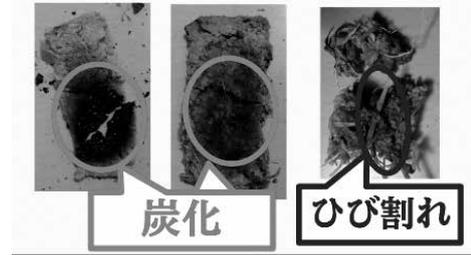
牛乳		雑草		レタス		ごぼう	
そのまま	強度 0.48	雑草	強度 0.58				
鯉節	強度 0.74			レタス	強度 0.6		
こんにゃく	強度 0.5			ごぼう	強度 0.86		

**低脂肪牛乳**

そのまま	強度	1.02	雑草	強度	0.93
鯉節	強度	1.05	レタス	強度	0.63
こんにゃく	強度	1.14	ごぼう	強度	0.82

**無脂肪牛乳**

そのまま	質量	1.26	雑草	質量	3.33
鯉節	強度	0.375	雑草	強度	0.46
こんにゃく	質量	1.49	レタス	質量	3.67
			レタス	強度	0.38
			ごぼう	質量	3
			ごぼう	強度	0.76



#### 5. 全体のまとめ

- ・ 5種類のプラスチック（牛乳3種類、豆乳2種類）で一番丈夫だったのが無脂肪牛乳で、一番軽かったのが低脂肪牛乳、無脂肪牛乳。
- ・ 脂肪分が少ないものほど軽く、丈夫、しかし作りにくい。

	そのまま	鯉節	こんにゃく	雑草	レタス	ごぼう
牛乳	6.3g	8g	7g	7g	6.7g	7g
低脂肪牛乳	4.3g	6g	4.3g	4.7g	4.7g	4.7g
無脂肪牛乳	4.3g	4.3g	3.3g	3.3g	3.7g	3g
調整豆乳	5g	6g	5.3g	6g	5g	5g
無調整豆乳	6g	7g	7g	6.3g	7g	5.3g

	牛乳	低脂肪牛乳	無脂肪牛乳	調整豆乳	無調整豆乳
写真					
質量	6.3g	4.3g	4.3g	5g	6g
強度	0.48kg	1.02kg	1.26kg	0.76kg	0.25kg
特徴	・まとまりやすかった。	・バサバサしていた。	・バサバサしていた。	・まとまりやすかった。	・まとまりやすかった。

	そのまま	鯉節	こんにゃく	雑草	レタス	ごぼう
牛乳	0.48kg	0.74kg	0.7kg	0.58kg	0.6kg	0.86kg
低脂肪牛乳	1.02kg	1.05kg	1.1kg	0.98kg	0.63kg	0.82kg
無脂肪牛乳	1.02kg	0.80kg	1.5kg	0.5kg	0.38kg	0.5kg
調整豆乳	0.76kg	1kg	0.96kg		1.02kg	0.881g
無調整豆乳	0.23kg	0.20kg	0.30kg			0.93kg

#### 6. 感想

- ・ 今回の実験で、私は自分の予想とは真反対の性質を、たくさん知ることができました。例えば、脂肪分が少ないものほど丈夫になったり、プラスチックが炭化して弱くなったりしたことです。特に、まさかプラスチックが炭化するとは思わなかったのが、次実験する時は、炭化しないように工夫したいなと思いました。
- ・ 他にも驚いたことがありました。実験1では、

- 脂肪分の差によって強度が全然違って、びっくりしました。去年は脂肪分で比較をしていなかったのが、脂肪、恐るべし、と思いました。
- ・ 今年は、分解を全くさせていなかったのが、来年はそれをテーマにしていきたいなと思いました。生分解性プラスチックとあるので、分解されなければ意味がありません。今回使ったプラスチックを実際に土で埋め、どれほどの日目で分解するのかを調べてみたいです。

・世界では、マイクロプラスチックや、先進国からプラスチックゴミを輸入して捨てる「輸入プラスチック」が問題になっています。プラスチックはとても便利ですが、今も日々地球の環境を壊しています。そんな今だからこ

そ、生分解性プラスチックの存在を一人でも多くの人に知ってもらふ必要があると考えています。この実験が、生分解性プラスチックのことを知り、地球を救う一つのかけ橋になればいいなと思っています。

## ◆外部卓話◆ 「もったいない」の国の食品ロス

特定非営利活動法人eワーク愛媛 理事長 難波江 任



我が国は資源劣国<sup>1</sup>とされています。であるにもかかわらず我が国は、戦中戦後の混乱期の食糧難や物資不足を乗り越え、高度成長期には、食糧難時代のひもじさや不便さを埋め合わせるかのように、

働き方、生活様式、そしてその価値観を変貌させ、国内の資源需要が資源自給を上回るようになってしまいました。

飽食の時代と呼ばれるようになった高度経済成長期以降、国内では、生活様式を多様化させ、消費意識も大きく変わりました。そして、食品の加工化・大量生産化が進み、食品への鮮度志向が先行するなかで、生産・流通段階では大量の食料のロスと廃棄が生じることになったのです。さらに、この頃から、消費段階でも、食べ残しや食べられずに廃棄される食料が増加することになっていきました。

現在、この、食料のロスと廃棄をめぐる状況は、世界的にも深刻化しており、これらがもたらす環境への負荷は、大きな社会問題になっており、2015年に国連が発表したSDGsの12番目のターゲットとしても、食品ロス・廃棄の半減が明確に目標化されました。

とりわけ、我が国では、食料の多くを輸入に依存しており、その依存を政策的に軽減しようとしており、一方では多くの食料ロスと食料廃棄が発生していることは、深刻度合いが大きい課題であると言えます。

国内の食料自給率は、この10年以上にわたって39%以下の状況が続いています。海外から輸入されている食料の重量は、年間5,190万トンです<sup>2</sup>。それに対して、食品廃棄物排出量は2,402万トンとなっており、海外から食料を輸入しながら、その50%近い量の食料を廃棄していることにも、大きな矛盾があるように思えます。

この食料自給率が低位であり、60%以上もの食料を輸入にたよる状況を、我が国では戦後の食生

活の中で形成してきたと言っていいいでしょう。我が国の時代背景ごとの、労働観、食に対する価値観の移り変わりを年表に示してみました。我が国の国民の食・生活に関する意識は、戦中・戦直後を含めて、大きく4つのカテゴリーができました。このように、私たちは、戦後の「生きるために、食べる」ことから「働くために、食べる」「頑張るために、食べる」を越え、「楽しむために食べる」時期を生きるようになってきました。それに併せて、肉食から中食、外食へと食の形もシフトしていくことになりました。

私は、この「食べる」価値観の変化をイートシフトと呼んでいます。イートシフトや労働と消費に対する意識の変化（ワークシフト<sup>3</sup>、スPENDシフト<sup>4</sup>）は、我が国内の食料の自給率を徐々に低下させていき、併せて、ロスや廃棄する食料の量を増加させてきました。

国内の食に対する価値観は、戦後混乱期、高度成長期、バブル経済期を越えながら、大きく変化してきました。このような背景のもと、国内の食に対する価値観が変化する中で、近年、「地域のために食べる（消費する）」「健康を意識して食べる」「食品ロス削減を考えて食べる」という意識に変わってきています。特に、「もったいない」「無駄をなくそう」といった意識は、「MOTTAINAIキャンペーン」や東日本大震災の影響、SDGsの策定、食品ロス削減推進計画施行等の認識の広がりもあり、現在では高まりをみせています。

私たちは、これからもさらに、「もったいない」という言葉を生み出した国民として、他国に先駆けた食品ロス削減の取組みを進める必要があると思います。

- 1.「資源劣国」：我が国は、食料自給率も低く、燃料、原料など様々な資源を輸入に頼っている。
- 2.「令和3年度食料需給表（輸入量）」農林水産省
- 3.リンダ・グラットン「ワーク・シフト ― 孤独と貧困から自由になる働き方の未来図」（2012年7月／プレジデント社）
- 4.ジョン・ガーズマ、マイケル・ダントニオ「スPEND・シフト＜希望＞をもたらず消費」（2011年7月／プレジデント社）

時代とともに移り変わる労働観、消費動機とイートシフト年表

時代	戦中～戦後混乱期 1941年～1950年頃	戦後復興期～高度経済成長期 1950年頃～1973年	安定成長期～バブル経済期 1973年～1991年	バブル崩壊～東日本大震災 1991年～2011年	東日本大震災～現在 2011年～2020年	地域再生の時代（想定） 2020年～
主な出来事	終戦（1945）、朝鮮戦争（1950）	神武景気、東京オリンピック（1964）、大阪万博（1970）	オイルショック（1973）、プラザ合意（1985）、消費税導入（1989）、東日本大震災（1995）	バブル経済崩壊（1991）、終身雇用崩壊、リーマンショック（2007）、ワーキングハラスメント（2007）	東日本大震災（2011）、アベノミクス、人口減少問題、FAOレポート、SDGs宣言、働き方改革、食品ロス削減推進法施行、コロナ禍発生	新興国の台頭、社会保障制度の危機、東京オリンピック（2021）、大阪万博（2025）、コロナ禍～アフターコロナ、各自体での食品ロス削減推進計画策定・施行
食の価値観の変化（イートシフト）	<ul style="list-style-type: none"> <li>とにかく生きるための食事（食への工夫、飢えのない工夫）</li> <li>労働報酬（戦後GHQ労使）</li> <li>労働団らんの食事</li> <li>体力をつけるための食事</li> <li>働くための力の源</li> <li>食に楽しみを見出す始める</li> <li>家族団らんの食事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の楽しみ</li> <li>食のバリエーション化</li> <li>旅行の中心が食に</li> <li>地産地消型消費</li> <li>食を楽しむ</li> <li>とにかく美味しさを食べたい</li> <li>旅行の中心が食に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の楽しみ</li> <li>食のバリエーション化</li> <li>旅行の中心が食に</li> <li>地産地消型消費</li> <li>食を楽しむ</li> <li>とにかく美味しさを食べたい</li> <li>旅行の中心が食に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の楽しみ</li> <li>食のバリエーション化</li> <li>旅行の中心が食に</li> <li>地産地消型消費</li> <li>食を楽しむ</li> <li>とにかく美味しさを食べたい</li> <li>旅行の中心が食に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の楽しみ</li> <li>食のバリエーション化</li> <li>旅行の中心が食に</li> <li>地産地消型消費</li> <li>食を楽しむ</li> <li>とにかく美味しさを食べたい</li> <li>旅行の中心が食に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の楽しみ</li> <li>食のバリエーション化</li> <li>旅行の中心が食に</li> <li>地産地消型消費</li> <li>食を楽しむ</li> <li>とにかく美味しさを食べたい</li> <li>旅行の中心が食に</li> </ul>
人生観の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家観優先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事観優先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が最優先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族と自分の時代</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・社会の中の自分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的活動への関心の高まり</li> </ul>
労働観の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家のために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人並みの生活を送るために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の将来のために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の将来のために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の将来のために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のキャリア形成の考え方がより強くなる</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> <li>食しざから働くために働く</li> </ul>
企業観の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家あっての自分</li> <li>会社は国家の繁栄のため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分あっての自分</li> <li>会社は自己として考える</li> <li>会社の中で人生を考える</li> <li>会社は自己として考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分あっての会社</li> <li>会社は自己として考える</li> <li>会社の中で人生を考える</li> <li>会社は自己として考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社は社会のためにある</li> <li>CSRの考え方が更に広がる</li> <li>CSRが企業の評価になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革による影響</li> <li>働きやすさに関心</li> <li>社員のキャリア形成は企業の義務に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革による影響</li> <li>働きやすさに関心</li> <li>社員のキャリア形成は企業の義務に</li> </ul>
消費動機の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>国のために消費を抑える</li> <li>物不足・配給制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活必需品にするため</li> <li>愛着のための消費</li> <li>新しい嗜好品、住宅へのあこがれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のための消費</li> <li>愛着のための消費</li> <li>新しい嗜好品、住宅へのあこがれ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費が地域や社会に役立つ</li> <li>地域のためや他人のためになる</li> <li>商品を選ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災地支援の消費が広がる</li> <li>ブランドより質への関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思いやり消費、エンカール消費の考えが広がる</li> </ul>
内食	<ul style="list-style-type: none"> <li>配給食による切り詰めた食生活</li> <li>学校の校庭を使った作物栽培</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラーメンやレトルト食品などのインスタント食品が普及</li> <li>冷蔵庫の機能向上による調理の楽化</li> <li>冷凍食品の増加</li> <li>食生活改善協議会発祥（宮崎県1960）</li> <li>キッチンカーによるPR（1957）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>味の再現、消費期限など表示の統一化</li> <li>高糖質用レトルト食品の出現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>賞味期限、消費期限の定業を広報</li> <li>高糖質用レトルト食品の出現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者、子どもも孤立が広がる</li> <li>高齢者の自炊率低下</li> <li>宅配事業拡大（コロナ禍、ウーバーイーツなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者、子どもも孤立が広がる</li> <li>高齢者の自炊率低下</li> <li>宅配事業拡大（コロナ禍、ウーバーイーツなど）</li> </ul>
外食	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤミ市に安価な食糧がでまじり始めた</li> <li>労働者の食を支える安価で栄養価の高い食糧が求められる</li> <li>ご当地ブルメの前身が誕生（1954）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サラリーマンは出前の残業食を食べていた</li> <li>ファーストフード、外食のチェーン店が創業、開業し始めた</li> <li>ハイキング形式の登場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>
中食	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食の復活・定着化（アメリカからの支援物資増加1946ラララ物資配給）</li> <li>農地改革（1947）</li> <li>アメリカからの食糧輸入再開（1954）</li> <li>高食料自給率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スーパーマーケットやデパートの登場</li> <li>スーパーマーケットのお惣菜</li> <li>スーパーマーケットの登場</li> <li>コンビニエンスストアの始まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニエンスストアの増加</li> <li>惣菜専門店増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>賞味期限記載開始（1995）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニエンスストア755,000店舗（2017）</li> <li>賞味期限記載開始（1995）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニエンスストア755,000店舗（2017）</li> <li>賞味期限記載開始（1995）</li> </ul>
食に関する主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食の復活・定着化（アメリカからの支援物資増加1946ラララ物資配給）</li> <li>農地改革（1947）</li> <li>アメリカからの食糧輸入再開（1954）</li> <li>高食料自給率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の観光化</li> <li>ご当地ブルメの登場</li> <li>外食のファーストフード化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> <li>食の観光化</li> </ul>
食品ロス発生状況（食品ロス量の増減イメージ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料自給率は100%に近く</li> <li>食品廃棄も少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中食、チェーン展開の外食が増加し</li> <li>食料廃棄が徐々に増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスの現状を知ることで、食品ロスを削減しようとする動きが始まる</li> <li>SDGs、食品ロス削減推進法の施行など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスの現状を知ることで、食品ロスを削減しようとする動きが始まる</li> <li>SDGs、食品ロス削減推進法の施行など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスの現状を知ることで、食品ロスを削減しようとする動きが始まる</li> <li>SDGs、食品ロス削減推進法の施行など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスの現状を知ることで、食品ロスを削減しようとする動きが始まる</li> <li>SDGs、食品ロス削減推進法の施行など</li> </ul>

作成：難波江 任氏（2021）

## ◆ 内部卓話 ◆ 天然ガスを取り巻く状況について

小林 勝彦



私たちの社会生活において『エネルギー』は切っても切れない要素と考えられています。その中でも弊社を含めまして多くのエネルギー事業者が取り扱っています天然ガスのお話をさせていただきます。昨今のエネルギー政策としては、①供給安定性、②適切な価格、③環境への配慮の3点が重要となってきますが、それらの部分にさらりと触れていきたいと思えます。

お話を始める前に用語の確認をさせていただきます。『LNG (Liquefied Natural Gas)』とは何かご存じでしょうか。LNGとは、天然ガスをマイナス160℃まで冷却して液化した状態を呼び、体積を600分の1にすることにより、船による輸送効率を高めています。また化石燃料ではありますが、石炭と比べて燃焼時の二酸化炭素排出量は6割以下であり、カーボンニュートラルに向けたトランジション(移行期) エネルギーの位置づけとなっています。

さてその天然ガスの世界市場はどのようになっているのでしょうか。主には中長期契約で運用される市場が、EU、アジア、北中米の3エリアにあり、加えてスポット市場が存在します。それぞれの価格は、そのエリアを中心としたエネルギー需給バランスと原油価格に一定の割合でリンクする仕組みとなっていますが、アジア市場では原油価格へのリンク割合が高いと言われています。また流通(輸送)方式については、アジア市場でLNGによる割合が8割以上と格段に高いものとなっています。

しかしながらウクライナ侵攻以降は、EU市場においてもLNG割合が高まっています。

次に日本に関連が深いLNG市場における影響因子と昨今の具体的なリスクとはなんでしょうか。先にもご説明した通り原油価格との連動性が高く、その影響因子としては、①中国等の世界経済の動向と米国利下げ、②米国の原油生産動向、③OPECプラスの減産(生産調整)度合い、④中東を中心とした地政学リスクやそれに伴う海峡封鎖(主にスエズ運河やホルムズ海峡)、⑤米大統領選挙の結果、等が考えられます。加えて現在は安定的に供給されているサハリンLNGへのロシア側の動向、中長期的には『カーボンニュートラルへの動向』と『経済や暮らし』との両立度合いによるLNGプロジェクトの開発進捗にも需給バランスの面で影響を及ぼす可能性も秘めています。

最後にまとめますと足元では、価格に影響する因子は多岐にわたっていますが、決定的な状況(中東地域の紛争ほか)にならない限り市場での吸収力はあるのではないのでしょうか。中期的には、他のエネルギーとのマッチングや発展途上国の経済状況を考えると重要なポジションを担うエネルギーになるのではないのでしょうか。最後に長期的には、50年カーボンニュートラルに向けて不確実性が高まる中、『化石燃料の一つとしての天然ガス』か『エネルギー安定性や供給安全保障を含めた移行(トランジション)燃料としての天然ガス』の位置づけによっては、歩むべき道は変わってくるのではないのでしょうか。

以上です。ありがとうございました。

## 人生100年時代のリスクへの備え(相続と認知症)

梶原 浩 充



相続については遺言について、認知症については後見人制度や民事信託についての簡単にお話させていただきました。

まず相続についてです。相続と聞くと、争続という言葉が聞かれたことがある方もいらっしゃると思います。実際のところはどの

か統計を調べてみました。家庭裁判所の遺産相続に関する調停件数を年次でグラフ化したものです。2022年で1万6千件程度と、確かに年々、件数は増加トレンドとなっています。では毎年お亡くなりになられる方はどうなっているかということこちらも年々増加基調です。(2022年で約150万人これからも毎年増加していく予測) 確率的には相続100件につき1件が係争事案になっているものと

思われます。

相続についての事例を紹介しました。

お客様Aさん（相続人は奥様、長男、次男）は遺言を書かないと採めることが心配だと仰せでしたので、公正証書遺言を残すことをご案内し、銀行で遺言信託として受託することになり、お手伝いすることになりました。

内容についても迷われながら最終的には資産の大半を長男さんへ、法廷相続分の半分程度（遺留分と言います。）を次男さんへ引き継ぐ内容で決定されました。（遺言書は省略）遺言書には付言事項とって相続とは直接関係はありませんが、ご遺族に向けてメッセージを遺す機能があります。Aさんはご家族に愛情溢れるメッセージを遺されたので遺言書を開示した後、お父さんが心配された事態にはならずスムーズに相続手続きが終了しました。

つぎに認知症についての事例を紹介しました。お客様Bさんご夫婦です。こちらのご家族は奥様の出身が代々の地主さんで資産の有効活用をされていまして。ある日突然のことですが、奥様がお病気で倒れてしまい、意思疎通が困難な状態になりました。奥様は不動産賃貸業経営者でもあり、テナントさんとの契約更新や修繕などのやり取りが必要であり、ご主人から相談を受け、後見人制度を案内することになりました。

このBさんのケースはこちらから紹介させて頂いた司法書士さんが後見人に選ばれることになり、金銭の管理や不動産オーナーとしての法的な行為は行うことが出来るようになりました。

成年後見人は全国に25万人程度、認知機能に問題のある高齢者は数十倍いらっしゃるので活用しにくい制度になっています。色々なことを慎重に考えた上で活用を検討されてはと思います。余談ですが2月に法務大臣が後見人制度の見直しを検討といったニュースが報道されていますので期待したいところです。

では後見人制度を活用しないとして、どうしようという事で民間療法の対策として考えられることとして…。

①銀行と仲良くする。表現が砕けすぎですが、お元気な間にお取引のある金融機関での窓口の対応を聞かれてみてはいかがでしょう？巷では認知症になると預金口座にロックがかかると言われています。一般論ですが、ご本人の認知力に問題が生じた場合は通常のご家族の生活費やご本人の医療介護への使い道であれば相続人さん複数人の同意を確認ができれば払い出しに応じる金融機関が多いです。

②のキャッシュカードで出金、またはタンス預金という手もあるかと思います。ただキャッシュカードについては暗証番号を複数回間違えるとロックがかかります。また、カードの磁気やICチップに不具合が生じると出金が出来なくなります。どちらも復活させるにはご本人による手続きが必要になるので急に困ることになる可能性があります。

③として子供や配偶者にあげてしまうのも手です。現実的にこの手段をとる方はなかなかいらっしゃらないかと思います。

認知症になっても自由に大金を出金できる通帳があったらよいなあと思います。お元気なうちなら一定の対策を打つことも可能です。聞かれたことがある方も多いと思いますが家族（民事）信託という仕組みです。

お元気なうちに子供さんを管理者に指定し、金銭等を信託するものです。金融機関は管理者（子供）を取引の相手方とし、医療、介護、生活費など本人のための用途を引き出し対応するものです。ただ全財産の全てを任せるのは心配だと感じやすいかと思います。

そのようなことはなくて、実際はすべての財産の内、一部だけを信託することが出来ますので、ご自身の医療や介護に備える部分だけ活用すればよいかと思います。民事信託については不動産も対応可能なので、外部との契約が必要な賃貸不動産については活用を検討するのも手かと思います。

最後に窓口でよくお聞きする代表的なご質問を紹介します。

Q.どんな専門家に相談すればよいですか？

A.実情に応じて検討すればよいと考えます。

もめない相続なら → 弁護士さん

相続税対策なら → 税理士さん

認知症なら → 司法書士・行政書士 公的な支援機関としては地域包括支援センターがあります。

全てを横断して対応してくれる所は少ないかもしれません。

内容については以上になります。

これからも微力ですが新居浜ロータリークラブの運営に貢献していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 親睦旅行 大阪・芦屋・淡路 1泊2日の旅

伊 藤 有 希

参加者：メンバー13名、奥様7名、 総勢20名

## 1日目(2/10)

新居浜駅を出発し大阪へ、大阪駅で待ち受けていた瀬戸内バス(新居浜ロータリークラブ貸切)に乗り込み桜ノ宮屋形船へ。

天満橋から船出し大川沿いを巡る2時間。造幣局や大阪城に目を移しながら屋形船での昼食は、しゃぶしゃぶ鍋、他刺身や握り、もちろんお酒も沢山、景色もそこそこに、メのラーメンまでは食べきれないほどの量でお腹も満腹。

その後は梅田へ、それぞれにショッピングを楽しみました。

そして夜は「ホテル竹園芦屋」へ。

読売巨人軍の常宿ということで、ホテルのロビーには巨人軍の歴代監督の写真や記念品などが飾られていました。ホテルのオーナーがもともとお肉屋さんだということから、ホテルのすぐ隣にあるお肉屋さんの牛肉コロケのサービス券付きで、食べてみたい人は6時までにと、夕食前のコロケ…。その後7時から夜の食事は肉のフルコース。1品目から牛肉のにぎり寿司、珍しい料理では肉の天ぷらが出てきました。メインは3種盛り。お酒もお話も弾んでまたまたお腹も膨れて…、おやすみなさいZZZZZZ。

## 2日目(2/11)

ホテルを出発し、一路淡路島へ。

明石海峡大橋入り口付近から渋滞、淡路島に入ると、公園などの駐車場が一杯。淡路島の人気を感じながら私達一行は、関西国際空港などの建設の為に土砂採掘場を環境創生の取り組みで緑を再生させた日本最大級の温室「あわじグリーン館」に入り、1時間ほど癒しの時を過ごしました。

昼食の場所はオーベルジュフレンチの森「Prince Etoile」。建物は童話に出てくる森の中の小人のお家のように、可愛らしく趣の異なった建物が3棟並んでおり、宿泊も出来るようになっています。フランス料理のコースに舌鼓。食通・ワイン通の皆様のお話をお聞きしながら笑いあり笑いあり笑いあり…、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

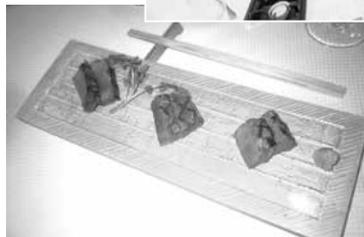
今回のお肉満載の旅に、帰ったら体重が3キロ増えていたという方もいらっしやったとか(笑)企画から準備をされた垂水委員長、大変お疲れさまでした。普段はなかなかお話しする機会のない奥



屋形船



ホテル竹園芦屋での夕食



あわじグリーン館



オーベルジュフレンチの森「Prince Etoile」



様方との楽しい時を過ごすことが出来、また、メンバーの皆様の新たな一面にも気づき、心温まる旅でした。人生経験の深い先輩方に感謝！良い思

い出が出来ました。ありがとうございました。  
皆さん、来年も一緒に行きましょう！！

親睦旅行に参加された皆様



## 入会のご挨拶

伊 藤 浩 二



この度、田川様のご推薦を頂き、栄えある新居浜ロータリークラブへ入会させて頂きました伊藤浩二と申します。崇高な理念のもと、ご活躍されています皆様方の一員に仲間入りできました事を大変光栄に

思うと同時に、身の引き締まる思いでもあります。

新居浜出身の私ですが、1986年に住友重機械工業へ入社して以来、西条を拠点とした宇宙機器、反応容器、攪拌機、製鉄機械、鉄構の事業に携わってまいりました。職種としては設計、開発、営業、製造などを担当し色々な経験をすることができました。

仕事で海外出張も多く、韓国、中国、台湾、香港、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、ギリシャに行ったことがあります。特に韓国、中国、台湾は合計で50回以上行きました。仕事で知り合った

何人かの外国人との友人関係は今も続いています。最近ではコロナの影響もあり海外に行く機会が少なくなっていますが、時間ができればもう一度欧州に行き、文化遺産や歴史的な建造物巡りをしたいと思っています。

新居浜には大学から結婚までと東京勤務期間を除いても40年以上住んでいます。しかしながら「灯台下暗し」のことわざもありますが、新居浜に住み、住友に勤務しているにも関わらず、新居浜、住友について知らないことも沢山ありますので、これから勉強していきたいと思っています。

この歳になり、ようやく地域や社会へ恩返しをしたいと思い始めた時に、ロータリアンとしての機会を頂戴致しました。

これからは、少しでも早く、地域、社会へ貢献できるよう、努力してまいります。不慣れな為、色々とお面倒をお掛けする事があるかもしれませんが、何卒、宜しく、お願い申し上げます。

# 例会記録

## R 6. 2. 1 (第3455回)

開会	明星会長	(指名委員会委員長)
来客紹介	小林親睦委員	(規定審議委員会委員)
ゲスト	新居浜市立金栄小学校 5年生 藤田 祐貴さん	(奉仕プロジェクト委員会 社会奉仕委員会カウンセラー)
	保護者 藤田 紀輝様	(公共イメージ向上DEI委員会 カウンセラー)
	新居浜市立別子中学校 2年生 長尾怜央菜さん	
	保護者 長尾 和恵様	
	新居浜市教育委員会 学校教育課 指導主幹	矢田 義久会員 (公共イメージ向上DEI委員会委員)
	小野 英雄様	増田 忍会員 (青少年奉仕委員会ローター アクト小委員会委員)
来訪ロータリアン	なし	
誕生祝 (2月)		外部卓話 (新居浜市小中学生科学奨励賞 発表会報告)
垂水 辰仁君 (5日)	松下 博彦君 (8日)	紹介 (青少年奉仕委員会) 増田青少年奉仕委員長
萩尾 孝一君 (9日)	鈴木 誠祐君 (19日)	挨拶 小野 英雄様
曾我部謙一君 (26日)		発表
出席報告	出席委員	①特選 「飛行機の羽と飛び方についての実験」 藤田 祐貴さん
幹事報告	西岡幹事	②特選 「未来の地球を守れ!! 分解できるプラスチック作りPart2」 長尾怜央菜さん
各委員会の連絡事項		
ニコニコ報告	副SAA	
2024-2025年度地区委員委嘱状授与	明星会長	謝辞 明星会長
桑原 征一会員 (諮問委員会委員)		閉会 明星会長

## R 6. 2. 8 (第3456回)

開会	明星会長	出席報告	出席委員
来客紹介	梶原親睦委員	定例理事会報告	明星会長
ゲスト	なし	幹事報告	西岡幹事
来訪ロータリアン	なし	各委員会の連絡事項	
結婚記念祝 (2月)		ニコニコ報告	副SAA
神野 直正君 (4日)	伊藤 有希君 (4日)	内部卓話 (新入課員)	小林 勝彦会員
妻鳥 孝行君 (10日)	田川 稔君 (12日)	情報雑誌	桑原情報雑誌委員長
田坂 忠孝君 (14日)	東田 桂典君 (25日)	閉会	明星会長
宮崎 善博君 (28日)			

## R 6. 2. 15 (第3457回)

開会	明星会長	幹事報告	真木副幹事
来客紹介	村田親睦委員	各委員会の連絡事項	
ゲスト	住友重機械工業株式会社 愛媛製造所 新居浜工場長	ニコニコ報告	副SAA
	伊藤 浩二様	内部卓話 (新入会員)	梶原 浩充会員
来訪ロータリアン	なし	閉会	明星会長
出席報告	出席委員長		

## R 6. 2. 22 (第3458回)

開会	明星会長	会員入会	
来客紹介	小野 祐也親睦委員	紹介	田川 稔会員
ゲスト	特定非営利活動法人 eワーク愛媛 理事長	入会挨拶	伊藤 浩二会員
	難波江 任様	歓迎の辞 (バッジ贈呈)	明星会長
来訪ロータリアン	なし	外部卓話 (人間尊重委員会)	
出席報告	出席委員	紹介	小野 雄史人間尊重委員長
幹事報告	西岡幹事	卓話	「“もったいない”の国の食品ロス」 難波江 任様
各委員会の連絡事項		謝辞	明星会長
ニコニコ報告	副SAA	閉会	明星会長

## ■ 2月1日

- 増田 忍** 藤田さん、長尾さん、特選受賞おめでと  
青少年奉仕委員長 うございます。本日はようこそ新居浜RC  
に。作品発表よろしくお願ひします。
- 明星 元** 新居浜市小中学生科学奨励賞で特選に入  
賞された金栄小学校5年藤田祐貴さん、  
別子中学校2年長尾怜央菜さん、今日は  
卓話ありがとうございます。今後とも  
色々な事に興味を持って勉学に励んでく  
ださい。
- 西岡 圭** 新居浜市小中学生科学奨励賞を受賞され  
た藤田祐貴さん、長尾怜央菜さん、受賞  
まことにおめでとございます。卓話で  
の発表楽しみにしております。
- 桑原 征一** 地区委員をいろいろやらせて頂きます。  
ご支援の程、宜しくお願ひいたします。
- 松下 博彦** 誕生日のお祝い、どうもありがとうござ  
いしました。新たな気持ちで今後も精進し  
てまいります。
- 萩尾 孝一** 6回目の干支を迎えました。これからも  
元気でポチポチやっていきます。(誕生祝)
- 鈴木 誠祐** ありがとうございます。66回目の誕生日  
を迎えます。
- 曾我部謙一** この年になると「もう」と「未だ」の使い  
方に迷います。72才にもなってしまいま  
した。まだまだ元気で頑張るぞ！(誕生祝)
- 谷 學** 早退します。
- 梶原 浩充** 社用により早退します。スイマセン。
- 妻鳥 孝行** (その他)
- 桑原 征一** (その他)
- 桑原 征一** (その他)

## ■ 2月8日

- 垂水 辰仁** 2月9日・10日、1泊2日の親睦家族旅  
親睦活動委員長 行に参ります。楽しく旅行ができる事を  
願って。
- 小林 勝彦** 本日は卓話のお時間をいただきありがと  
うございます。緊張をパワーに変えて頑  
張りますのでよろしくお願ひします。
- 高橋 英吉** 病気のため会長エレクト、伊東省司さん  
が請けていただき大変ありがとうございます。  
迷惑掛けましたが今日から出席さ  
せて頂きます。正式術名は顕微鏡下腰部  
脊柱管拡大減圧術。
- 高橋 英吉** 喜寿のお祝いありがとうございます。す  
ごく年をとった気がしてなりません。
- 垂水 辰仁** 2月5日で72回目の誕生日を迎えました。  
よろしくお願ひします。
- 高橋 英吉** 結婚記念のお祝いバラありがとうございます。  
46回目だそうです。遅くなりましたが。
- 妻鳥 孝行** 結婚記念日の事は完全に忘れていまし  
た。2月10日だそうで、今日2日前に分  
かって良かったです。妻も忘れていると  
思いますので。
- 田川 稔** 結婚して29年になりました。子供も大き  
くなり妻との時間が増えてきますので、  
今まで以上に仲良くして行きたいと思  
います。
- 田坂 忠孝** 26回目のはずです。30周年までは頑張  
りたいと思います。(結婚記念)
- 東田 桂典** 結婚記念お祝いありがとうございます。
- 宮崎 善博** 36年前の日を懐かしく思い出します。幸  
い3人の息子に恵まれもの静かな妻に育  
てられ、反面教師の父を見ながら成人し  
ました。(結婚記念)
- 松下 博彦** 所用によりお先に失礼いたします。
- 田邊 崇** (その他)
- 丹 一志** (その他)

## ■ 2月15日

- 日野 英典** 2/14 社会奉仕委員会の事業が一通り  
終えたということで懇親会を行いました。  
小野副委員長、植村委員、村田委員、  
いろいろとご協力ありがとうございます。  
明星会長、西岡幹事ありがとうございます。
- 梶原 浩充** 本日卓話をさせていただきます。拙い経験談で  
すが終活をテーマにお話させていただきます。  
宜しくお願ひします。
- 垂水 辰仁** 2月10日・11日の親睦家族旅行も無事  
親睦活動委員長 終了しありがとうございます。次は3  
月14日18:00からの親睦家族会です。  
宜しくお願ひします。
- 明星 元** 親睦家族旅行では大変お世話になりました。  
垂水委員長、ご苦労様でした。
- 萩尾 孝一** 垂水親睦委員長、ありがとうございます。  
遠足大変楽しかったです。朝から晩  
まで3食すべて肉肉でした。大満足です。  
もう肉はいりません。
- 谷 學** 垂水親睦委員長、楽しい遠足ありがとうご  
ざいました。楽しませていただきました。
- 近藤 利彦** 先日の親睦旅行に参加させて頂きました。  
肉ざんまいのおいしい食事、ありがとう  
ございました。垂水親睦委員長には、大  
変お世話になりありがとうございます。
- 矢田 義久** 先日は楽しい旅行を企画して頂き、有難  
うございました。あの日以来、家での食  
事を『粗食』と感じてしまうのは、私だけ  
でしょうか？本当にお世話になりました。
- 渡邊 義人** 申し訳ありません。早退します。

## ■ 2月22日

**小野 雄史** 本日は人間尊重委員会下期外部卓話を講師に難波江様をお迎えし行います。よろしくお願ひします。

**明星 元** 特定非営利活動法人 eワーク愛媛理事長 難波江様、食品ロスに関する卓話ありがとうございます。

**西岡 圭** 人間尊重委員会の外部卓話でお越しいただいた難波江任様、本日はありがとうございます。卓話楽しみにしております。

**伊藤 浩二** (入会)

**田川 稔** 伊藤さんご入会おめでとうございます。新居浜でのロータリーライフを楽しんでお過ごし下さい。

**妹尾 次郎** 伊藤浩二さん、ようこそ新居浜RCへ。  
高校・大学の同級生 限られた期間かと思いますが、ロータリーライフを楽しんで下さい。

**伊藤 有希** 2週連続の欠席で、大変遅ればせながら結婚祝のお花をありがとうございます。家の中に花がそえられ、心が豊かになります。これからも仲良くやっていけたらと思っております。

**松下 博彦** 所用のため、失礼いたします。

2023 - 24 年度

### ニコニコ寄付金

2月 合計 40件 113,000円

累計 308件 1,015,000円

## 2023 - 24年度の入退会者

月/日	入 会	退 会	事 業 所 名	紹 介 者
8/24	村田 弘一		住友化学(株)愛媛工場	丹 一志
8/24	松下 博彦		住友金属鉱山(株)別子事業所	丹 一志
12/10		井石安比古	井石内科医院	尾部 輝光
1/13		松田 哲雄	松田顕微鏡歯科クリニック	三好光治郎
1/31		植村 明雄	住友重機械工業(株)愛媛製造所	平 喜彦
2/22	伊藤 浩二		住友重機械工業(株)愛媛製造所	田川 稔
計	3名	3名		

正 会 員 数	
7月末	68名
8月末	70名
9月末	70名
10月末	70名
11月末	70名
12月末	69名
1月末	67名
2月末	68名

おのおのの物そして心の両面の10%をささげ、  
世界に平和と健康をつくりだす人を一。

# PHD

PEACE・HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT

### PHD箱寄付金報告 (インターアクト委員会)

2月合計額	6,389円
2023-24年度累計額	57,086円
昭和57年5月13日スタート以降の累計額	1,965,079円

## 新居浜RC100年ビジョンマダラ

3～5年の中期目標の設定	新居浜の人口増や地元愛増大への貢献	SDGsへの取り組み	外国人経営者がいれば勧誘する	理事会等へのオブザーバー参加促進	若い人の入会	男性よりも女性の方が優秀かも	女性会員増	入会レベルの維持
若い会長の輩出	ビジョン	クラブの伝統を守る	入会レベルの維持	会員増強	親子会員	女性会員が増えたと男性会員の質も上がる	女性会員	女性比率10～20%
クラブリーダーシッププランの立案	次世代につながる取り組み	小さなことでもいいので継続的な取り組みを	地元会員の拡大	紹介条件のマニュアル作成	会員数60～80(約90%意見)		100周年では女性比率を20%以上に	女性会員数2ケタ
事務局スペースの拡大	ロータリーソングを今風に	委員会の統廃合委員会間の交流	ビジョン⑮	会員増強⑯	女性会員⑳	串話・スピーチ後の講評を行う	食事の量・質工夫	いつも同じ人と座るのではなく委員会席を導入
会員名簿作成	クラブ委員会	未所属委員会への理解度を上げる	クラブ委員会㉑	新居浜RC100年ビジョン	例会㉒	ロータリーの基本を学ぶ場を増やす	例会	会員スピーチを20分間に
出席率UPへの方策	クラブ活動の創設(趣味的な)	オンライン例会	広報地域貢献㉓	規約他㉔	会員交流企業交流㉕	奉仕活動にもう少しウェイトを置く	ニコニコのコメントを本人が説明	現状の緊張感の維持
太鼓祭りの人間同士のケンカを無くす運動	太鼓祭りPR	子供への貢献	仮入会制度の導入	例会回数の見直し	メーキャップ対象をはっきりさせて拡充	会員企業同士がお互いをもっと知る機会を	県外・近隣777との親密な関係づくり	次世代経営者との交流会
教育委員会を通して青少年育成支援を	広報地域貢献	ニコニコ予算で地域貢献を	他クラブとの連携	規約他	転勤者の入会金見直し	委員会の懇親会等での活性化	会員交流企業交流	奉仕と親睦の更なる充実
	認知度UP	講演会音楽会	内規を少なくとも新役員、理事間で確認	事務局員の労働条件等を適時見直し	年度が変わるごとに引継ぎをきちんと行う	各種懇親会の継続	委員会内の親睦をもっと図る	

※総意見数149

2023.4.3 小野(正)、明星、高橋(英)、西岡、吉田、池田作成

## 編集後記

会誌3月号、無事に発行が出来ました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。今月の頭に、取引先の研修旅行で屋久島に行ってきました。新居浜から福岡まではJRを利用し、福岡空港から屋久島までは飛行機で一時間ほどのフライトで到着しました。当初は、縄文杉を目指す12時間のトレッキングコースに挑む予定でしたが、1月に腰を痛めたのでそれを諦めて観光にしました。それでも、標高1200m以上の高さにある紀元杉までは車で行くことが出来ました。縄文杉は7000年、紀元杉は3000年以上と言われていますが、正確な樹齢は不明で、幹の大きさから推定してるとのことです。

屋久島の最高峰は、宮之浦岳で1936mあり、石鎚山より少しだけ低いです。気候帯は亜熱帯気候の北端で、島の南側の暖流から起こる湿った空気が山にぶつかり、大量の雨を降らすので年中通して雨の多い地域です。その雨がもたらした偉大なる自然遺産です。昔は、年貢米の代わりに屋久杉を切り出して本土に送っていたそうで、小さな町が形成されていた時期があり、新居浜の東平に通づるものを感じました。



二泊三日の旅でしたが、世界遺産の中に身をゆだね、トビウオのから揚げをあてに三岳の芋焼酎をあおり、温泉に何度もつかりました。屋久島から帰ってから、血圧が落ち着いているのは、紀元杉のパワーを頂いたからかもしれません。次回は是非とも、縄文杉を目指したいものです。



ホームページアドレス  
<http://www.niihama-rc.jp>

例会場 リーガロイヤルホテル新居浜  
 事務所 リーガロイヤルホテル新居浜

例会日 (木曜日) 12:30～13:30  
 〒792-0007 新居浜市前田町6-9  
 TEL (0897) 34-6767 FAX (0897) 35-1321  
 ロータリー口座 伊予銀行 新居浜支店 普 4093994

会長 明星 元

幹事 西岡 圭

- 発行所 新居浜ロータリークラブ 会報委員長 妹尾次郎
- 印刷所 東田印刷株式会社